



The Rotary Club of Iruma

国際ロータリー 2570 地区
Rotary International District 2570

入間ロータリークラブ Weekly Report

2025-2026 RI 会長: フランチェスコ・アレツツオ 2570 地区ガバナー: 坂口孝 会長: 畫間和弘 幹事: 後藤健

24号 3421例会 2026年 1月 8日 (木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生 リク・ウコウ様
ロータリーファミリー マック・ジャ・ハン様
新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き皆さんのご指導ご支援をいただけましたら幸いです。



来週の火曜日 1月 13 日に新所沢ロータリークラブに行く機会を頂きました。ぜひ皆さんにもご同行いただき、応援していただけましたら大変心強く思っています。リクさん入間ロータリークラブへようこそ。ロータリー米山記念奨学金も残すところ、2ヶ月となり心から感謝を申し上げます。

■ ■ 米山功労者

第3回マルチプル 荒井正武 会員

<今月のお祝い>

会員誕生日	水村雅啓君 宮寺成人君 吉沢誠十君 斎藤栄作君 宮崎正文君 新井格君
夫人誕生日	駒形陽子様 大塚珠代様 宮部典子様
結婚記念日	山岸義弘君 塩野谷崇君

✿ 会長の時間 ✿

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

12月18日に行われたXmas家族例会では沢山の参加者と盛り上げて頂いたボーカリスト会員の皆様、ロータリーファミリー マック・ジャ・ハンさんご協力ありがとうございました。会長として半年過ぎましたが会員、ご家族の皆様に大変喜んで頂いたと思ってます。

画間和弘会長



12月20日、入間RCはフードバンク入間と合同で、フードパントリーの一環として地域の子ども達へクリスマスプレゼントを配布する事業を実施いたしました。

当日は午前10時30分に集合し、入間ロータリークラブから15名が参加いたしました。中学生ボランティアの皆さんにもご協力をいただきながら、お菓子の袋へのロータリーシール貼り作業を行いました。350個のお菓子袋の準備と配列を整え12時半より配布をスタートしました。お菓子のほかにも、企業の皆様からカップラーメン、レトルト食品、ドリンク、乾パンなど、たくさんの食品をご提供いただきました。企業の皆様には物品のご提供をいただき、当日は入間RCのメンバーが各ブース担当いたしました。イベントを盛り上げるため、細田会員がサンタクロース、私がトナカイの着ぐるみを着て子ども達を出迎えました。子ども達の笑顔はもちろん、お子様を連れて来られなかった保護者の方からは「子どもも連れて来れば良かった」との声もいただき、会場は終始笑顔に包まれた温かいイベントとなりました。

ご協力いただきました中学生ボランティアの皆様、企業の皆様、フードバンク入間の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



<幹事報告>

後藤健幹事

<協議事項>

- 1.2月、3月のプログラム
- 2.3月最終例会は夜間例会に変更
- 3.クリスマス家族例会会計報告
- 4.会費検討委員会立ち上げ



第1回委員会を1月22日例会後に開催
<報告・予定>

- ・1/15(木)入間市長年頭所感
- ・1/22(木)プロゴルファー小林克也様卓話
- ・1/29(木)新年会(夜間魚いち)
- ・2/9(月)会長幹事会
- ・2/25(水)IM(所沢ミューズ)
- ・2/28(土)補助金管理セミナー

1/7(水)入間市新年のつどい

1/16(金)入間市商工会賀詞交換会

1/20(火)入間青年会議所賀詞交歓会

2/14(土)入間市少年野球60周年記念式典

- ・本日下期の会費及び、事業参加費の納入をお願い致します。
- ・今月のロータリーレート 156円

<委員長報告>

[親睦活動委員会] 杉田宏充委員

今月最後の1月29日は18時30分

分から新年会を行います。それから3月11~12日に親睦旅行を予定しており成田の方に行きます。新勝寺に行って精進料理を食べ、その後宴会、次の日は佐原船で巡り、お昼は宿のシャトーでフランス料理、色々とそんな予定です。ぜひ参加をお願いいたします。



この例会後、プログラム委員会と合同で家庭集会を行いますので、参加できる方は30分ぐらいで終わりますので、お願いします。

[プログラム委員会] 駒形一人委員長

先ほど後藤幹事の方からご報告があつたように、プログラムが回ってますので、確認の方をお願いします。来週は市長の年頭所感で、再来週に小林克也プロの卓話になってます。皆様ぜひ出席して下さい。本日の家庭集会よろしくお願ひいたします。



[ロータリー美術館] 一柳達朗館長

来週はロータリー美術館になりますので、お持ちのお宝ですか、お子様お孫様が作った作品や絵などを募集しております。



私が来週参加できませんので、代わりに豊田会員にロータリー美術館の館長を代理していただきますので、是非宜しくお願いします。

[広報・雑誌委員会] 田中快枝委員長

1月号横組5頁、「日本が誇る工芸技術はいま」に職業研修チームVTT(専門職業人)のグループが海外へ訪れ、スキルや知識を学んだり現地の専門職業人にスキルや知識を提供するものです。8頁にはロサンゼルスのロータリーの会員の方が能登半島の震災において何かできないかと思い石川県に伝えてVTTが実現され金沢の漆塗りの職人の方がロサンゼルスに行って、自分たちの商品の案内や人との関わりを持って新しいことに目覚めていき、次の頁インスピレーションには皆様が参加して感じ取ったことが書かれています。日本人も日本の伝統工芸品に対して目を向けていくってことも大事なのかなというふうに感じました。



縦組2頁で寄り添いの経営ということで、これは介護用の靴を作っている会社が、人々に応じたものを安価に提供できる工夫で会社を伸ばされたようです。縦11頁で「五十三次つまみ食い」はおせちについて書いてあります。縦組17頁で「卓話の泉」では午年にちなんで書いてあり大変勉強になりました。

[ロータリー財団委員会] 馬路宏樹委員長

去る12月20日「入間市内の母子・父子家庭の子ども達を対象に食糧支援」が行われました。これは第2570ロータリー財団地区補助金を利用して「フードバンク入間」と協力して久保稲荷にあるメモリードホールに於いてクリスマスプレゼントを約350個配布しました。地区財団委員会にロータリー財団委員長として会計報告を行い、来年度以降の補助金申請書に繋げて参ります。



[青少年プログラム委員会] 木下登委員長

先日、入間市社会福祉協議会にて木下大サーカスの1月19、20、21、23日の招待券10枚、割引券20枚をいただきしております。事務局に預けてますので、ぜひこれを機会にサーカスを見に行って頂きたいと思います。木下大サーカスは福祉事業に非常に力を入れており、入間市にも福祉の浄財をいただいている。場所は立川の立飛に特設会場ができておらず、開催は昨年の11月15日~今年の2月23日迄です。宜しくお願い致します。



卓話者紹介 一柳達朗米山統括委員長

リク君は新座こぶしRC所属で立教大学キャンパスに通っています。秩父を舞台にしたアニメが大好きでアニメ聖地巡礼の取り組み、比較検討し要因を研究しています。

✿✿✿講 師 卓 話✿✿✿

✿ 陸 宇 航 様 ✿

自己紹介ですが陸宇航（リクウコウ）27歳です。出身地は中国・北京。所属は立教大学観光学研究科観光学専攻です。趣味は旅行・歌唱・バスケットボール。私の研究対象はバスケットボールに関する



ニュース翻訳でNBAは世界で最も注目されているバスケットボールリーグであり、当時、中国国内での多くのバスケットボールニュースには、本来の意味を正しく伝えられず、理解しにくい表現が多く見られ、そこで私はナイダの「機能的対等理論」を用い、原文の意味をそのまま中国語でも自然かつ適切に表現できるような翻訳を目指した。岐阜県飛騨市と埼玉県秩父市におけるアニメ聖地巡礼の取り組みを、それぞれ分析し飛騨市ではなぜ持続しなかったのか、秩父市ではなぜ持続してきたのかを比較・検討し、その要因を明らかにすることを目的とする研究を行っている。

又、なぜこの2つの地域を選んだのかについて、私は2016年の作品公開以来、ずっと『君の名は』のファンであり、今回観光学を学ぶ機会を得たことで、この2つを結び付け、地域に対して自分なりに貢献できることを探りたいと考えている。多くの人は「1つの作品が好きだからといって研究にはならない」と言うが、私は熱意がなければ猶更何ごともなしとげられないと考えており、その思いから飛騨市を選び、研究対象としてきた。

一方で秩父市については、地域を舞台にした有名なアニメ三部作が存在し、また観光課が継続的にさまざまな関連イベントを企画・実施していることから、聖地巡礼者が絶えず訪れている。これは飛騨市との明らかな対比となると考え、比較事例として秩父市を取り上げることにした。

私は中国の北京出身である。北京は中国の首都でもあり、私はこの安全な都市で27年間過ごしてこられたことに感謝している。北京は観光地としても生活の場としても、とても素晴らしい都市だと思っている。もし皆さんに機会があれば、一度訪れてみてください！



私は日本に来る前、北京の外部の塾で日本語を学び始めた。その時、偶然にも私を教えてくださった先生は東洋大学を卒業した日本人

の女性であり、そのおかげで私は日本人と中國人の物事に対する考え方や行動の違いを直接觀察し、理解することができた。

現在、日本に来てから三年が経ち、多くの日本人と接してきたが、その中で私が最も強く感じた自国との違いは「距離感」という言葉に表されるもので、日本の皆さんは距離感を保つことに関して、生まれながらの才能だと思う。周囲の空気を読み、いつ何をするのが正しいかをよく理解しており、それによって相手を安心させることができるのである。一方で、私の同胞の多くは、逆に近づき過ぎてしまうことが多いと思う。もっとも、こうしたことは人によって異なるとも考えている。印象的な出来事としては、現在所属の学校で、ある発表の後、日本人のクラスメイトと一緒に食事をし、お酒を飲んでとても楽しく盛り上がったことがあった。しかし翌日、研究室で顔を合わせたときには「おはようございます」と一言挨拶しただけで、それ以上の会話はなかった。まるで前日の会話がなかったかのように、一度リセットされたように感じられたのである。もし同じことを中国の友人としたならば、翌日はむしろ話がさらに増えて、親密さが深まっていたと思う。たとえ摩擦や不快なことがあっても、すぐに打ち明けて仲直りするのが普通である。もちろん、これは私が少し敏感すぎるだけで、相手は特に何も意識していないかもしれないが、ただ、私にとっては、距離感をあまりにも重視しそうることは、必ずしも良いことばかりではないと感じている。

日本に来てわずか三年だが、私はすでに人生で最も重要な3つの出来事を経験したと思っている。第一の出来事は、自分の力で大学院に合格できたことである。私は大学で英語を専攻していたため、周囲の多くの同級生はイギリスやオーストラリアなどへの留学を選んだが私はそれらの国々にはあまり興味がなく日本に強い関心を抱いていたので、周囲の疑問の声があっても、日本に行くことを決心した。イギリスやオーストラリアの大学院は、中国から直接出願し合格すればそのまま現地で学び始めることができるが日本の場合は異なり、まずこれまで学んだことのない分野の知識を身につける必要があり、自分自身で出願手続きを進めなければならず、最初から最後までほとんど誰の助けも得られず、すべてを自力で行う必要があったのである。この過程は決して順調ではなく、多少の運もあったと思うが、最終的に立教大学に受け入れていただくことができた。私はこの大学に対して感謝の気持ちしかない。

第二の出来事は、人生で初めて奨学金に合格したことである。しかもそれは外国でのことであった。最初は「とりあえず挑戦してみよう」という気持ちで応募し、少しでも家族の負担を軽くしたく、そして現地調査（飛騨）にかかる宿泊費や高速バス代などの費用を減らしたいと考えていた。この流れは丁度、先日終了した就職活動とほとんど同じで、まず書類を提出し、それに合格したら面接へと進むというものであった。大学院合格までの道のりも同じようなプロセスだったので、米山奨学金に合格できたときは「本当に運が向いてきた」と心から思った。

第三の出来事は、日本で就職先を見つけたことである。これは昨年、私にとって最も悩みの種となったことでもあった。手続き自体は大学院の出願と似ているが、就職活動は違い、私が関心を持っていたゲーム業界や観光業界などは全く別の分野であり、同じ志望理由書を使い回すことはできなかった。在学中の研究も同時に進めなければならず最終的には結果が出て内定を得ることができた。自分の力だけで認めてくれる企業を見つけられたということ自分が、家族に誇りに思って貰えることだと考えている。

ロータリー活動に参加して私が感じた2つの大きなことは、喜びと感動である。まず「喜び」については行田市や鶴ヶ島市など、奨学金に合格する前には訪れたことのなかつた埼玉県内の多くの都市を訪れることができた。これは、米山奨学生の様々な活動が私にその機会と動機を与えてくれたからである。例えば、行田市では人生で初めて弓道を体験し、秩父では奨学生の皆さんと一緒に清掃活動を行った。こうした1つ1つの経験が、私にとって米山奨学生という大家族の中でのかけがえのない思い出となっている。そして最近の例会で、ようやく内定をいただいたことを報告した際には、幹事の戸高さんが心の奥から喜んでくださり、拍手までして頂いた。その姿を見て、私も思わず胸が熱くなり、涙が出そうになり本当に皆さんへの感謝でいっぱいであった。

皆さんの支えがなければ、私は今まで歩んでこられなかつたと思っています。



新井格SAA

＊ 畫間和弘君、後藤健君、繁田光君、新井格君
明けましておめでとうございます。画間年度も折り返し地点を過ぎ後半戦に入ります。皆さまの更なるご協力お願い致します。

＊ 宮崎正文君、馬路宏樹君、田中快枝君、駒形一人君、細田浩司君、一柳達朗君、菅野茂実君、長谷川尚義君
明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。画間会長、後藤幹事、新井SAAあと半年頑張ってください。リクウコウさん卓話宜しくお願ひ致します。

＊ 繁田光君

1月2日の武藏カントリー新年杯で78ラウンドして優勝しました。祖父繁田正一パストガバナーが56年前の昭和44年に優勝して以来です。

＊ 新井格君

第一回いるま漢字選手権で優勝しました。

＊ 滝沢文夫君

1月最初の例会、カレーライスある意味でホットしています。

本日¥122,000 累計¥967,116

駒形一人委員

会員数	出席数	出席率	前週修正率
40名	30名	81.00%	-----

事前欠席連絡5名

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信12月号
- ② ロータリーの友1月号
- ③ バギオ基金2024年度事業報告書
- ④ バギオだよりVol.112
- ⑤ 2026年6/13~17台北国際大会お知らせ
- ⑥ 2026年3月11~12日親睦旅行出欠表
- ⑦ 2/12入間市親睦ゴルフコンペ案内
- ⑧ 1/15ロータリー美術館ご案内と出欠表
- ⑨ 1/29新年会出欠表
- ⑩ 2/25IM所沢ミューズ出欠表
- ⑪ 下期会費請求書
- ⑫ 1月、2月、3月プログラム
- ⑬ 木下大サーカスご案内
- ⑭ 週報22,23号

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email : iruma-rc@jupiter.plala.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宇野健一

